

感染症発生動向調査情報(週報)

2013年49週(12月02日～12月08日)

○ 山梨県内流行情報

第49週は、感染性胃腸炎の報告が全国的に増加し、特に中北保健所管内では定点当たり24.63となりました。定点当たり20を超えたことから、中北保健所管内は感染性胃腸炎の警報レベルになりました。「警報レベル」とは、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示し、特に注意が必要です。原因となるウイルスとして有名なノロウイルスは、手指や食品などを介して経口で感染し、人の腸管内で増殖し、おう吐、下痢などを起こすため、子どもやお年寄りなどでは脱水により重症化したり、特に寝たきりの高齢者が吐ぶつを誤って気道に詰まらせて死亡する事例も報告されているので注意が必要です。感染症の本格流行シーズンを前に、さまざまな感染症予防の標準予防策である手洗い・うがい・咳エチケットの励行、バランスのとれた食事を心がけ、改めて家族全員で体調の管理に留意するとともに、体調が悪いときは無理せず十分な休養を取り、早めに医療機関を受診しましょう。

【今週の警報】:感染性胃腸炎(中北保健所管内)／【今週の注意報】:なし

○ 富士・東部管内流行情報

管内の感染性胃腸炎報告数も、48週(9.4)から49週(16.2)と増加し、警報レベルに近づいています。手洗い・うがいの励行とともに十分な休養を心がけ、感染予防に努めましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3139	0.68	4199	1.42	1968	0.66	6139	2.07	38588	13.01	5048	1.7
山梨県	1	0.03	27	1.13	2	0.08	41	1.71	355	14.79	17	0.71
中北	-	-	20	2.5	1	0.13	2	0.25	197	24.63	8	1
中北峡北	1	0.13	1	0.2	1	0.2	32	6.4	30	6	2	0.4
峡東	-	-	1	0.25	-	-	5	1.25	45	11.25	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
富士・東部	-	-	5	1	-	-	2	0.4	81	16.2	5	1
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1451	0.49	232	0.08	1596	0.54	25	0.01	150	0.05	844	0.28
山梨県	5	0.21	1	0.04	4	0.17	-	-	-	-	-	-
中北	1	0.13	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	3	0.6	-	-	3	0.6	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	11	0.02	344	0.54	4	0.01	19	0.04	169	0.37	10	0.02
山梨県	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	1	0.1	1	0.1
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33
中北峡北	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	49週		48週		47週		46週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.03	1	0.03	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	増加しています	流行しています	1.13	27	1	24	0.88	21	0.46	11
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.08	2	0.17	4	0.04	1	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	流行しています	1.71	41	1.17	28	1.29	31	1.08	26
感染性胃腸炎	増加しています	平年並みです	14.79	355	11.25	270	6.67	160	4.33	104
水痘	やや増加しています	平年より少ない発生数です	0.71	17	0.5	12	0.5	12	0.54	13
手足口病	やや増加しています	平年並みです	0.21	5	0.08	2	0.21	5	0.17	4
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	0.04	1	-	-
突発性発疹	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.17	4	0.17	4	0.21	5	0.38	9
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	0.08	2	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	0.04	1	0.04	1	0.04	1
急性出血性結膜炎	-	-	0.11	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.22	2	0.11	1	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	平年並みです	0.1	1	0.2	2	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	0.1	1	-	-	0.1	1	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	42
二類感染症	結核	中北	女	30